



## V コマンド

---

この章では、コマンド名が V で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

# verify

コンフィギュレーション セッション内のコマンドを検証するには、**verify** コマンドを使用します。

**verify** [**verbose**]

## 構文の説明

<b>verbose</b>	(任意) 現在のコンフィギュレーション セッションを検証して、結果の詳細を表示します。
----------------	---------------------------------------------

## デフォルト

なし

## コマンド モード

セッション コンフィギュレーション

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、コンフィギュレーション セッションを検証する例を示します。

```
switch# configure session myACLs
switch(config-s)# verify
switch(config-s)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>commit</b>	コンフィギュレーション セッションのコマンドをコミットします。
<b>abort</b>	セッションを削除し、セッション コンフィギュレーション モードを終了します。

# version 5

NetFlow エクスポートのバージョン 5 を設定するには、**version 5** コマンドを使用します。バージョン 5 の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**version 5**

**no version 5**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

NetFlow エクスポート コンフィギュレーション (config-flow-exporter)

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

NetFlow エクスポートのデフォルトのバージョンは 5 です。  
バージョン 5 の設定を削除すると、NetFlow エクスポートのデフォルトのバージョンは 9 になります。  
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次の例では、NetFlow エクスポートのバージョンを 5 に設定する方法を示します。

```
switch(config)# flow exporter Netflow-Exporter-1
switch(config-flow-exporter)# version 5
switch(config-flow-exporter-version-5)#
```

次の例では、バージョン 5 の設定を削除する方法を示します（この結果、NetFlow エクスポートのデフォルトのバージョンは 9 になります）。

```
switch(config-flow-exporter-version-5)# no version 5
switch(config-flow-exporter)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show flow exporter</b>	NetFlow エクスポートに関する情報を表示します。
<b>version 9</b>	NetFlow エクスポートのバージョンを 9 に設定します。

# version 9

エクスポートバージョン 9 を指定し、エクスポートバージョン コンフィギュレーション モードを開始するには、**version 9** コマンドを使用します。

**version 9**

**no version 9**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

フロー エクスポートは、作成するまでコンフィギュレーション内には存在しません。

## コマンドモード

フロー エクスポート コンフィギュレーション

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

フロー エクスポートでは、フロー モニタ キャッシュ内のデータをリモート システム（たとえば、分析および保管のために NetFlow コレクタを実行するサーバ）にエクスポートします。フロー エクスポートは、コンフィギュレーションで別のエンティティとして作成されます。フロー エクスポートをフロー モニタに割り当てることで、フロー モニタにデータ エクスポート機能を追加できます。複数のフロー エクスポートを作成して、1 つまたは複数のフロー モニタに適用すると、いくつかのエクスポート先を指定することができます。1 つのフロー エクスポートを作成し、いくつかのフロー モニタに適用することができます。

フロー エクスポート コンフィギュレーション モードに入ると、プロンプトが次のようになります。

```
switch(config-flow-exporter)#
```

フロー エクスポート コンフィギュレーション モード内では、**version 9** キーワードを入力できます。**version 9** キーワードを入力すると、プロンプトが次のようになります。

```
switch(config-flow-exporter-version-9)#
```

このコマンドの **no** 形式を使用する場合、*seconds* 引数は任意指定です。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、作成または変更するフロー エクスポートの名前を指定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter flow-export-test
switch(config-flow-exporter)# version 9
```

```
switch(config-flow-exporter-version-9)#
```

次に、バージョン 9 エクスポートの統計情報オプション テンプレートとデータを指定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter flow-export-test
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# exporter-stats
```

次に、バージョン 9 インターフェイス テーブル オプションの、テンプレートとデータを指定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter flow-export-test
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# interface-table
```

次に、バージョン 9 インターフェイス テーブル オプションの、テンプレートとデータを指定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter flow-export-test
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# sampler-table
```

次に、オプション再送信時間（秒）を指定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter flow-export-test
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# timeout 32
```

次に、データ テンプレートを指定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter flow-export-test
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# template data
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>flow exporter</b>	フロー エクスポートを作成します。
<b>flow monitor</b>	フロー モニタを作成します。
<b>flow record</b>	フロー レコードを作成します。
<b>sampler</b>	フロー サンプラを作成します。

# vrf

送信元と宛先の両方で、Encapsulated Remote Switched Port Analyzer (ERSPAN) トラフィック転送のための仮想ルーティング/転送 (VRF) インスタンスを設定するには、**vrf** コマンドを使用します。

```
vrf {vrf_name} | {[default | foo]}
```

## 構文の説明

<b>vrf_name</b>	VRF の名前。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
<b>default</b>	(任意) デフォルトとして VRF 名を指定します。
<b>foo</b>	(任意) foo として VRF 名を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

config-erspan-src  
config-erspan-dst

## サポートされるユーザロール

network-admin  
network-operator

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、ERSPAN 送信元の VRF インスタンスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# monitor session 5 type erspan-source
switch(config-erspan-src)# vrf default
switch(config-erspan-src)#
```

次に、ERSPAN 宛先の VRF インスタンスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# monitor session 2 type erspan-destination
switch(config-erspan-dst)# vrf default
switch(config-erspan-dst)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip ttl</b>	ERSPAN 送信元セッションにアクセス コントロール グループを適用します。
<b>monitor-session</b>	ポート間トラフィック分析のために、ERSPAN または SPAN セッションを設定するためのモニタ コンフィギュレーション モードを開始します。

